



広報

# ごじょうめ

五城目に集う農業の知恵と夢



第111回

## 秋田県種苗交換会

会場：五城目町

会期：11月1日～7日



### 主な内容

- 交換会開催まで  
あとひと月……2・3
- 全町体育祭……………4
- 町敬老式・金婚式……5
- 隨想……………6
- 若さの秘密……………7
- ふれあい広場……………8
- スポットニュース……9
- スポーツコーナー……10
- お知らせコーナー……11
- 五城目の地名散歩……12

福島表具店の一代表として、あさやかな手さばきで仕事をする、表具師・福島養治さん。十五歳でこの道に入り今年で五十四年を迎える。お客様の大切なものを預かるだけに、「たいへん神経を使う」という。失敗は許されない。今は軸ものが主体です。普通は一週間ぐらいで出来ますが、時にはぼろぼろになつたものを頼まれることもあります。そういうものを半年から一年も掛け難儀して仕上げた時に、「金品に換えられない喜びを感じます」と、やかに語ってくれた。

表  
具  
師  
(新潟)  
福島養治さん

No. 597

昭和63年(1988年)

10月1日

(毎月1日・15日発行)

発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎ 0188(52)2100代

印刷／湖東印刷所 ☎ 0188(52)2430

# 秋田県種苗交換会

# 開催まであとひと月

# 準備着着と進む

農機会場	第四会場	第三会場	第二会場	第一会場
磯ノ目大橋下流広場	農協会館 ・談話会	五城目第一中学校体育館 ・各種大会 ・演芸大会	町民センター・広域体育館 ・五城目町物産展示即売会 ・各種団体協賛展示	五城目小学校 ・農産物展示 ・各種団体協賛展示

## 会場・行事日程のご案内

第一百十一回秋田県種苗交換会開催まであと二十一日。会場、駐車場が決定し、行事日程もまとまるなど、五城目に集う農業の知恵と夢の祭典“種苗交換会”を成功させるための準備が着々と進んでいます。

会期中は、かなりの人出と交通の混雑が予想されます。事故のない明るい種苗交換会を開催するためには、町民の皆さんのご協力をお願いします。また、会場周辺は駐車禁止となっていますので、案内板等に従い指定の駐車場をご利用ください。

# 会場・駐車場案内図



■ わたしたちの町の下水道  
流域下水道計画が策定した時（昭和四十九年度）に、私達の町の計画を策定しております。しかし、それから十数年を経過しており、制度の変革と技術の進歩により現在は適合しなくなりました。そこで、現在の下水道に適合する下水道計画策定のため、全町にわたり調査を行っています。

その中で、五城目町における下水処理の基本的な考え方には次のとおりです。一、地域の実状に最も適合した事業を取り入れる。二、汚水処理については、その経費は使用料で徴収することになるため、投資効率を十分に考慮し過大投資を避ける。

三、雨水排水について、市街地は既存の都市下水路で対処し、市街地以外の地区は既存の農業用排水路にて対応する。

四、以上の点を考慮し、流域関連公共下水道事業、集落排水事業、合併処理浄化槽で行うかについて検討する。

## どこから着手するか

源」をお送りします。

市町村からの要望が多いよう、秋田県内でも、六十四年度要望する市町村が相当数あります。

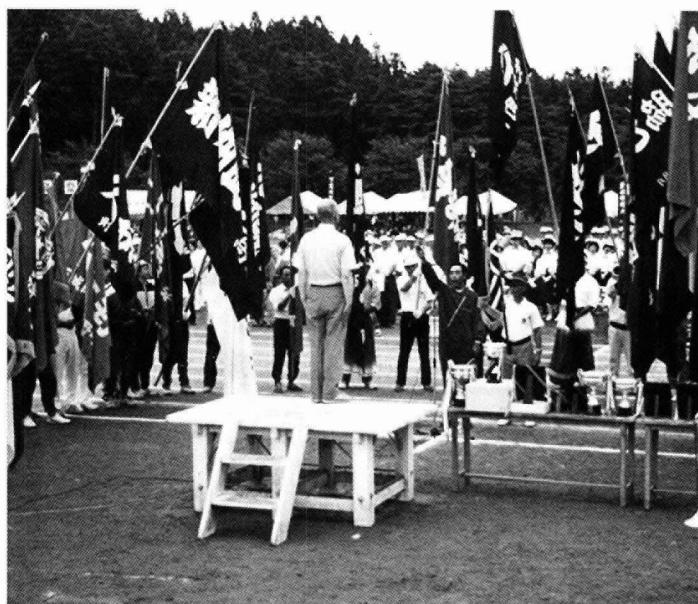
秋田県内でも、六十四年度の認可ですが、年々下水道を三年度中に行う計画で進めています。そして、国の認可が得られれば、六十四年度から着手の予定を行います。国

の認可ですが、年々下水道を三年度中に行う計画で進めています。そして、市の認可が得られれば、六十四年度から着手の予定を行います。国

の認可ですが、年々下水道を三年度中に行う計画で進めています。そして、市の認可が得られれば、六十四年度から着手の予定を行います。国

## 下水道のはなし

(6)



前回優勝古川町チニムの村上勝美さんが選手宣誓

豊かな体力と精神を育みスポーツを通じてよりよい町をテーマに、第十八回全町体育祭は、九月十一日、五城目五十八チームが参加して開かれました。当日は、朝からどらは雨も降り出し、ゴールで転倒する選手が相次ぐなど、会場は和気あいあいのムードに包まれ、各町内会の皆さん祭を心ゆくまで楽しんでいました。

全町体育祭は、午前九時、マは「我が町の○○○」とい  
五城目第一中学校プラスバン  
ドが演奏する行進曲に合わせ、  
参加五十八チームの堂々の入  
場行進でスタート。今年のコ  
ンテスト用プラカードの一  
マは「我が町の○○○」とい  
うことと、五城目城や森山、  
コスモスロード、だまこもちな  
ど各町内会が工夫を凝らした  
プラカードが入場行進に花を  
添えました。

# 上山内通算6度目の優勝

競技種目は全部で十三種目でした。グラウンドコンデショニングが悪いため、最終競技の綱引きは中止となりました。十二種目中、採点対象種目は十一種目。各チームの代

全町体育祭は、午前九時、  
五城目第一中学校グラスバン  
ドが演奏する行進曲に合わせ、  
参加五十八チームの堂々の入  
場行進でスタート。今年のコ  
ンテスト用プラカードのテ

マは「我が町の〇〇〇」といふことで、五城目城や森山、コスマスロード、だまこもちなど各町内会が工夫を凝らしたプラカードが入場行進に花を添えました。

昌過ぎからは雨模様の天気となり、ゴール付近では転倒して泥だらけになる選手が続出しましたが、皆さんはスポーツの秋を満喫していました。結果は、上山内チームが八田チームに十二点の大差をつけて優勝。これで上山内チームは第一回優勝以来、通算六度目の優勝を果しました。



手つき腰つきもしなやかに～やすき競走



激しい応援合戦が展開されました

町から寿状や記念品  
千人が長寿を祝う

町の敬老式は、九月九日、広域体育館で七十歳以上のお年寄り千人あまりが出席して開かれました。町では、八十歳以上のお年寄り全員に敬老祝金を贈ったほか、古稀や喜寿、傘寿などの祝年に当たっている方方に寿状や記念品を贈つて長寿をお祝いしました。

今年、町内で古稀（七十歳）寿座布団、白寿が三ツ重盃となつていて、当たつておられる方は百四十一人なつています。

人、喜寿(七十七歳)百十六人、傘寿(八十歳)七十三人、米寿(八十八歳)十九人、卒寿(九十歳)十二人となつており、式典では、それぞれの男女の代表に町長から寿状や記念品が手渡されました。記念品は喜寿が寿座布団、傘寿が鳩杖と木杯、米寿が銀杯、卒寿が

このほか、町内の男女それぞれの最高齢者に記念品が贈られました。男性の最高齢者は一関金八さん(久保・九十七歳)、女性は伊藤シミさん(落合・百歳)です。

また、家庭で病氣のお年寄りをいたわり、長い間看護を続けていたる伊藤鳳子さん(町



村）、桜田ヨシエさん（築地町）、伊藤直江さん（台）の四人が、老人優良介護人として表彰されました。

最後に、内川保育園の工藤裕矢ちゃんと小玉由紀子ちゃんが、お年寄りの代表二人に花束を贈りました。

式典の後は、内川保育園の園児による「うたと遊戯」や民謡同好会による民謡などがありました。

今年中に九十歳以上を迎える方のお名前は次のとおりです。

今年中に九十歳以上を迎える方のお名前は次のとおりです。

## 晴れて金婚を祝う

## 賞詞と記念品を贈呈



町では九月九日、今年で結婚五十年目を迎えるご夫婦を招いて、町民センターを会場に五城目町金婚式を開きました。

町では九月九日、今年で結婚五十年目を迎えるご夫婦を招いて、町民センターを会場に五城目町金婚式を開きました。

式典には二十六組のご夫婦が出席。町長がそれぞれの夫婦に賞詞と記念品を贈り、金婚を祝福しました。

今年めでたく金婚を迎えるご夫婦のお名前は次のとおりです。（敬称略・順不同）

○八木下照全・みきゑ

○ 桜庭鐵之助・ヒサ（古川町）  
○ 山口義一・愛子（古川町）  
○ 柴田久治・トミ（東磯ノ目町）  
○ 工藤太郎・日出（古川町）  
○ 鳥井純一・ミエ（田町）  
○ 長澤文次郎・テル（館町）  
○ 千田幸一・ミヒ（岡本一区）  
○ 本間市郎・シマ（館越）  
○ 一関房太郎・ミヅ（久保）  
○ 石井新三郎・チヨエ  
(帝釈寺)  
○ 石井長四郎・カネ（寺庭）

○ 加藤甚一・ハナエ  
 　　(大川四区)  
 　○ 北島兼太郎・トミ  
 　　(大川三区)  
 　○ 小熊正直・綾子(大川二区)  
 　○ 金子廣治・ヨシエ(西野)  
 　○ 加藤正孝・ウメノ(西野)  
 　○ 小玉正義・サダ(西野)  
 　○ 鷺谷喜治郎・カネ(谷地中)  
 　○ 山崎真太郎・信子(中川原)

- 加藤甚一・ハナエ  
 　　(大川四区)

○ 北島兼太郎・トミ  
 　　(大川三区)

○ 小熊正直・綾子(大川二区)

○ 金子廣治・ヨシエ(西野)

○ 加藤正孝・ウメノ(西野)

○ 小玉正義・サダ(西野)

○ 鷺谷喜治郎・カネ(谷地中)

○ 山崎真太郎・信子(中川原)

祝年を迎えた皆さんに町長から寿状や記念品が贈られました

佐々木知事が祝金をいただく  
伊藤シミさん（九月八日、自宅にて）

おりです。（敬称略・順  
○八木下照全・みきゑ

○石井長四郎・カネ(寺庭)

○山崎真太郎・信子(中川原)(谷地中)

町から寿状や記念品

佐藤於芳（谷地中）九〇歳  
佐藤ミン（谷地中）九〇歳  
松橋イト（田町）九一歳

畠沢清太郎  
(湯ノ又四区) 九三歳

## 随想

## 出稼対策

## 秋田県一の思い出

—前編— 小熊順一（西野）

昭和四十五年四月一日、農業者専職相談員（出稼相談員）の委嘱を受けた私は、翌年一月末、加賀谷町長から「出稼者にアドバイスする君のためにもうすぐ、町長として出稼する町民が出来るだけ恵まれた環境の所で就労できるよう、どこの何という所で、誰だれが、どのような作業をして、どの位の収入を得ているか。そこでは残業がどの位あるか。そして郷里への仕送

り金額は大体いくらか。それと合わせて、厚生施設等の状況を調べるよう」との事で二月一日から十日間、関東方面十七ヵ所の現地慰問を終えました。私は、その後関西方面で働く人達の収入が、関東方面より多いらしい情報を聞き、その実情を調査する必要のあることを力説し、再び町長の命を受け、今度は関西方面へ向いました。

昭和四十六年三月十四日朝、

大阪駅前へ降りた私は、同駅前にそびえ建つ第一ビル九階にある秋田県大阪事務所を訪問しました。係員の案内で所長室に入り、五城目町から関西方面へ出稼に来ている人達の現場の状況調査と慰問激励を兼ねて参った事を語り、町長の名刺を差し出し、よろしくとの伝言を申し上げたところ、所長の碇谷欣一郎氏は本当に驚かれた様子で、「私が当地へ赴任してから、出稼関係で来阪されたのは国会議員の栗林三郎先生だけです。あなた方は全国出稼者連盟の重要なボストにある方だから、大阪での大会の折に立ち寄られた訳ですが、それ以外はあなただけですよ」とひどく感動の様子でした。そして、「関西方面に出稼に来る県出身者の相談所長を兼ねているので、私も今後の参考にしたいから現地の内容を知らせてほしい」との事でした。所長さんも私と同じ相談員とのことでぐつと親近感が湧き、先月十日間関東方面十七ヵ所（就労人員百八十名）の現地慰問を実施し、毎晩彼らの飯場に泊り、文字通り寝食を共にしてきた事。各事業所の待遇の差が激しく、タコ部屋同然と思われる所もあれば、横浜のある工場のように、食事、寝室、入浴も社員と全く同じ待遇で、そのうえ健康診断も毎月一回実施という模範的な所もあって、今後の就労に非常に参考になつた事。（後編に続く）



大阪市浪速区の藤田工務店で働く本町出身の皆さん  
(昭和46年3月17日 宿舎生和荘前にて)

佐々木勝太郎さんに  
交通栄誉章「緑十字銅章」

## 表彰

赤い羽根  
共同募金

皆さんの善意を  
お願いします

「赤い羽根」で親しまれている国民助け合いの共同募金が、今年も十月一日から全国一斉に行われます。

赤い羽根共同募金は、皆さんの幸せを、在宅で寝たきりやひとり暮らしのお年寄り、手足の不自由な人など、あたたかい思いやりの援護を必要としている人々へ、皆さんからの善意を集めて届けます。それが赤い羽根共同募金運動です。

昨年は、町内の皆さんのご協力と関係者のお力添えにより、町内で三百十七万六千三百八十八円の寄付金が集まりました。この寄付金は、県共同募金会を通じて、民間社会福祉施設や社会福祉協議会などの団体に配分され、福祉の増進に役立てられました。今年度の町の目標額は、二百七十万五千円で、一世帯八百円以上を目安として募金活動を行なつた事。

目の不自由な方に  
あなたの善意を！

10月10日は  
日の愛護デー

△登録申込・問い合わせ先  
・各市町村役場、福祉事務所、保健所、眼科医院  
・(財)秋田県アイバンク事務局(秋田市新屋町字下川原三二二の一)

このほど広ヶ野の佐々木勝太郎さんは、交通安全活動に長年にわたって献身的に尽力されたことが認められ、交通栄誉章の「緑十字銅章」を受章しました。

佐々木さんは、昭和四十二

年から交通安全協会五城目支

部および五城目地区の理事を

務めており、この間、地域に

おける部会長などを歴任。率

先して交通安全思想の啓蒙啓

発に取り組み、幅広い活動を

推進してきました。



# 若さの秘密

わたしの場合

放送タレント

三國一朗(上)

生來の

肥満体质

おかげさまで、これまで病  
気らしい病気をしたことがあ  
りませんので、健康法は?  
と聞かれると、答えに詰まっ  
てしまふんです。

おなかで、これまで病  
気らしい病気をしたことがあ  
りませんので、健康法は?  
と聞かれると、答えに詰まっ  
てしまふんです。

私はオギヤアと生まれたと  
きから太っていましてね、と  
いふにかく、生まれたときに四キ  
の太りすぎは、脳卒中や心臓  
病などの引き金になりますよ

二十八年ごろには、八十三キ  
ロにもなりましてね。コンプ  
レックスから、テレビに出る  
のはよそうかと、真剣に悩  
だこともありましたよ。

私は運動が苦手で、そのう  
えに甘いものが大好きでした  
から減量などできるはずがな  
いと思っていたんですが、こ  
のまま放つておくと、九十キ  
ロはおろか百キロぐらいにな  
りかねない危機感を抱くよう  
になりました。専門の先生に相談  
して、贅肉を落とす決意をし  
たんです。

一日三食を二食か一食に切  
ります。

自分の体は  
自分で責任を

# 病気知らずの健

気
知
ら
ず
の
健
康
体

四十代に実行した  
減量作戦

テレビに出演し始めた昭和

口もあつたんです。戦前のこ  
とですから四キロはかなり大  
きいですよ。

それからグングン太りまし  
て、十歳で三十七・五キロ、東大  
入った昭和十六年から終戦後  
二、三年まで、食糧事情が悪  
かつたから、そのころはやは  
り体重も少し減りました。

口もあつたんです。戦前のこ  
とですから四キロはかなり大  
きいですよ。

それからグングン太りまし  
て、十歳で三十七・五キロ、東大  
入った昭和十六年から終戦後  
二、三年まで、食糧事情が悪  
かつたから、そのころはやは  
り体重も少し減りました。

り替える食事法と、一日三十  
分以上の早歩き散歩と、三百  
回の繩飛びを実行しました。

苦手な運動をやるものつら  
かつたけれど、いちばんつら  
かったのは減食で、好物のケ  
ーキや糖分を断たれるというや  
つは、一度慣らしてしまって  
からは意外に簡単なもので、  
二ヶ月もすると平気になつち  
やうなんですね。

り替える食事法と、一日三十  
分以上の早歩き散歩と、三百  
回の繩飛びを実行しました。

苦手な運動をやるものつら  
かつたけれど、いちばんつら  
かったのは減食で、好物のケ  
ーキや糖分を断たれるというや  
つは、一度慣らしてしまって  
からは意外に簡単なもので、  
二ヶ月もすると平気になつち  
やうなんですね。

三國一朗氏略歴

（みくに・いちろう）

大正十年生まれ。愛知  
県出身。六十七歳。本名  
同じ。昭和十八年、東京  
大学社会学科卒業後、兵  
役。戦後、朝日麦酒宣伝  
課でコピーライターをし  
ていたが、二十八年にタ  
レントとなり、テレビ「何  
でもやりまショー」のC  
M兼司会を担当。人気を

博する。その後、テレビ  
「私の昭和史」の司会を十  
年間務めるなど、テレビ  
イストクラブ賞受賞。同  
年「徳川夢声の世界」で  
第三十回芸術選奨文部大  
臣新人賞受賞。他の著書  
に「昭和史探訪（全六巻）」  
などがある。

あのときの苦労が歯止め  
なったのか、その後は七十二・  
三キロ以上になることはほと  
んどなくなりましたね。  
だけど、年齢からいえば、  
いまは太りすぎですよ。でも  
いまさら減量作戦をやるのも  
かなわないから、もう自然に  
体重も測らないことにして  
います。増えたの減ったのと、  
いまさら気にしてもしょく  
ないと思いましてね。

**メルシャン・カリフォルニア**

プラッシュ・やや甘口  
白・やや甘口  
(750ml入 各 ¥1,000)

酒専門店  
**タカツ**  
☎ 52-2262

ビタミンB1不足ですよ。

**トリメート・Eで元気直線。**

このたるや、オッなんだ!

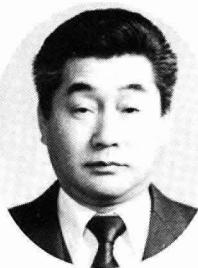
サンプルを無料で  
差し上げますので  
お気軽にご来店下さい。

五城目 **中央薬局**  
五城目町市場通り ☎ 52-3217

ふれ  
あい  
応援

# 自発的行動の研究

松橋武



グルース

朝翠流秋田県  
おひづるあきたけん

(会長館岡奥鵬さん)

この会は、昭和四十九年、会長の館岡さんが設立。現在、町内五カ所で教室を開いており、会員は五十人。館岡さんは十八歳の時に「礼儀と節度のある人間になろう」と、精神修養のため吟詠を身につけることを心に決め、朝翠流初代宗家・佐々木考吾先生の門をたたいた」とのこと。来年は郷里に教

会員の皆さんには、毎年各大会に  
出場し好成績を収めており、今年  
も県吟劍詩舞道大会で上位を独占  
したほか、東北大会や全国大会で  
も活躍しています。また、千代田  
区との交換吟詠会にも参加しまし  
た。教室開設当初から習っている  
という加藤ヨシさんは「何か趣味  
を持ちたいと思い学び始めました。  
大きい声を出すことは健康にいい  
し、詩を暗記することはボケの予  
防にもなっています。」と語ってく  
れました。また今年で三年目の工  
藤フサさんは、「前から好きで入っ  
てみました。とても勉強になりました。  
」と詩吟を学ぶ楽しさを語つて  
くれました。

年間の事業計画(月日等)  
は、四月に行われる通常総会で決定しますので、グル  
ープや個人的行事とかち合う事なく、住民一致協力して行  
われているのが特徴です。

り、住民におしまれながら指定解除を機に伐倒。その際、高さ三メートル、直径三メートルの伐根を残し、多額の経費をかけ、覆い屋根を造り保護保存しておるのが人づてに伝わり、他町内からの見学者も訪れ、今ではちょっとした名所にな

町内の中心を県道四号線と並行して内川川が流れ、その川に添つて商店も多く、また橋もあり、町内に入る右手の小高い丘には鎮守の森があつて、まるで温泉郷と思わせる環境優美な戸数百十五戸の集落が、わが湯

動会は、コミュニケーションの大きなウエートを占め融和と協調の成果が、全町の各大会での優秀な成績となつて表われております。

鎮守の森・横山神社境内にある杉神木は、町の文化財指定を受けたが、老化に

つております。  
また、町の施設をとの願  
望が実り、「生きがいセン  
ター」建設が決定されまし  
た事は、活性化に結びつく  
ものと大きな期待が寄せら  
れておる昨今です。



朗朗とした声で詩を吟ずる会員の皆さう。



全町体育祭で声援を送る湯ノ又町内会の皆さん

## 街頭キャンペーンやパレード――

## 大川地区で交通安全を訴える

秋の全国交通安全運動期間中の9月23日、町交通安全協会や同大川支部、大川地区交通安全母の会の皆さん約50人が、交通安全を願い街頭キャンペーンやパレードを行いました。

当日はカラッと晴れ上った秋空の下、午前8時半から大川地区全域をパレード。道行く人たちに車の事故などに気をつけようなどと声を掛けていました。この後9時から、国道7号線沿いの農協低温倉庫前で街頭キャンペーンを行い、ドライバーたちにヤクルトや、ゆでタマゴを手渡し、慎重な運転で交通事故を起こさないようにと訴えていました。



誘致工場見学でおねえさんから説明を聞く  
五小の子どもたち～五城目電機にて～

## 湖東地区から160人が参加――

## 第18回湖東地区身体障害者研修会――

第18回湖東地区身体障害者研修会（主催・五城目町身体障害者協会＝代表・加藤忠仁さん）は、9月22日、町民センターに関係者約160人が参加して行われました。

この研修会は、湖東地区に住んでいる身体の不自由な方々と関係者が一堂に会し、互いの体験を通じ交流と親睦を図り、理解を深めることを目的に毎年開催されているものです。

当日は、役場庁舎視察の後開会式を行い、引き続き「誰もが生きる喜びを持てる社会」と題し、畠沢実先生（県医師会副会長）が講演を行い、参加者に深い感銘を与えました。また、研修会終了後の懇親会では、お互いに親睦を図っていました。

内川保育園の給食調理員を次のことおり募集します。  
▽募集人員 女子二名  
▽申し込み期限 十月八日（土）まで  
※ご希望の方は、履歴書をご持参のうえ、役場へおいでください。詳しいことについてはおいで際には説明いたします。

内川保育園  
給食調理員募集

## スポットニュース



ドライバーに安全運転を訴える皆さん

## みんなで宿泊して学習――

## 町内6小学校が自然教室を開催――

子どもたちが集団生活をしながら郷土について学ぶ自然教室は、五城目小学校が9月5日から8日まで町民センターを、大川小学校と内川小学校が同じく5日から8日まで赤倉山荘を、馬場目小学校と富津内小学校・杉沢小学校が6日から9日まで恋地山荘を宿泊施設として実施されました。

この自然教室は、小学校の課外授業として開かれているもので、馬場目岳登山や施設見学、写生会、プラネタリウムによる星の学習など各学校により内容が異なっていますが、参加した子どもたちからは、学校の中とは違う雰囲気での学習に、楽しみながら生き生きと学んでいる様子がうかがわれました。



町民センターで行われた研修会

幸せづくり夢づくり  
地元と共に60年

「積み立て」は「しんきん」

まごころかよう

五城目信用金庫



本店☎52-2115代・八郎馬支店☎75-2544代・若美支店☎0185-46-2315代・飯島支店☎45-8024代





## 字(あざ)の類型分類-3

石川富司  
(館町)

字上山内、大宮あたりへ流れ込む古比屋沢

まずアイヌ語地名研究者から見ている「ナイ」地名の解釈を紹介しよう。この研究者（著名な学者を指して）は多いのであるが、この中で「大日本地名辞書」を著わした吉田東伍がはじめて、日本列島にアイヌ語が存在していることを示したのである。この示唆が動機で想定されたのが「ナイ」である。

これも東北の北部に多く分布しているので、これが注目され、からの二人の学者の調査から、その地域はほとんど内陸の谷や沢にある地名であることが確認され、「ナイ」地名は短かい川や沢といった解釈が自然に定着してきているようである。

県内でアイヌ語地名の研究

で知られているのは「秋田地名研究会」会員である県南の方であるが、その方の五城目町にある「ナイ」地名の一部を、五万分の一地形図による読図と文献などからの解釈で紹介しておこう。

○ 浅見内（アザミナイ）このままに読めば「アサミナイ」であるが、角川地名辞典には「蘚」（アザミ）と書かれているので「アザミ」と読むことにした。

この「アザミ」はアイヌ語解から純粹に述べると、アサム（底・奥・下）の転化（なまりからの変化）で、奥の沢ではないか。ただし、かなり古い時から称えているアザミであれば、このアザミはアイヌ語ではなく、植物（山菜）の多い沢の可能性がある。

△おへやみ  
申し上げます

△おかあさんの一言△  
生まれてから今まで丈夫に育つてきてくれたので、これからも人並に元気に育つてほしい



泉谷雄一ちゃん

(63.8.3生)

秀雄・いづみさん長男/館町

おたんじょう  
おめでとうございます

⑬

## 五城目の地名散歩

では、町史には別の解釈があるのでは次号に紹介したい。

工藤善之助	小林キヨエ	栗山キン	伊藤八千代	佐藤ルリ子	浅野サカ	（敬称略）	澤田石ハルエ	（敬称略）	廣嶋栄一	草皆宗幸	中村友美	藤田涼恵	齊藤幸太	斎藤健幸	泉谷雄一
71歳	73歳	67歳	71歳	30歳	76歳		85歳		65歳						
岡本一区	岡本一区	岡本一区	長町	落合	湯ノ又	大川三区	渡部セツ	湯ノ又	湯瀬	清孝・綾	涼恵・長女	涼恵・長女	涼恵・長女	涼恵・長女	涼恵・長男
8月22日	8月21日	8月21日	8月19日	8月17日	8月2日	8月1日	8月24日	8月23日	8月30日	8月27日	8月24日	8月12日	8月12日	8月9日	8月3日
北口	北口	北口	伊藤一	嶋崎ヨシミ	伊藤シナ	小林マネ	85歳	85歳	中高崎	8月24日	御藏町	8月24日	8月12日	8月12日	8月9日
大川一区	大川一区	大川一区	46歳	85歳	80歳	91歳	80歳	80歳	8月30日	8月27日	8月24日	8月12日	8月12日	8月9日	8月3日
北口	北口	北口	8月29日	8月28日	8月28日	8月28日	8月24日	8月23日	8月30日	8月27日	8月24日	8月12日	8月12日	8月9日	8月3日
大川一区	大川一区	大川一区	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日

## 町の人口と世帯

9月1日現在

人口	15,051	人 (+ 2)
(男)	7,155	人 (+ 5)
(女)	7,896	人 (- 3)
世帯	3,929	世帯 (- 1)

※ ( ) 内は前月との比較

（敬称略）															
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------